

体操男子団体



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2016年



男子団体総合で優勝を決め、日の丸を手に笑顔の(左から)加藤凌平、白井健三、内村航平、山室光史、田中佑典=リオデジャネイロ

大野(73^キ級男子)柔道「金」第1号

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。



【リオデジャネイロ共同】リオデジャネイロ五輪第4日の8日、体操の男子団体総合決勝で日本が優勝し、2004年アテネ五輪以来の王座を奪回した。1960〜70年代にかけての5連覇と合わせ、7度目の金メダル
カヌー・スラローム男子カナディアンペア

佐々木兄弟、準決ならず

カヌーはスラローム2種目の予選が行われ、男子カナディアンペアの佐々木将汰、佐々木翼組(万

となった。
また、柔道男子73^キ級で大野将平(24)⇨旭化成⇨が決勝でルスタム・オルジョイ(アゼルバイジャン)を下し、優勝した。今大会の柔道陣の金メダル第1号で、前回ロンドン五輪で優勝なしの屈辱を味わった柔道男子に待望の「金」をもたらした。
今大会の日本の「金」は競泳男子400^リ個人メドレーの萩野公介(21)⇨東洋大⇨に続き3個目。
六建設)⇨大田市協和⇨は12位に終わり、11位までが進む準決勝進出はなかった。